

## ファミリー・アンド・ヒストリー

## 〔第 39 回〕

## 無と空

✦ 文 岩本耕太郎 text by Kotaro Iwamoto ✦

大分の友人のお坊さんを訪ねた時のことです。タクシーでお寺に向かっている最中に突然般若心経の「色即是空、空即是色」が頭の中に浮かんできたのです。

私はこれまで一度も般若心経を学んだことはありませんので、もちろんその意味も知りません。一般的な解釈は「およそ形のあるものに実体は無く、本来実体がないものこそすべての事物の姿である」ということだそうですが、その時は全く違うように感じました。

ここでは色と空という言葉を使っており、その意味するところはすごく大事なはずですが、一般的な解釈の場合であれば、わざわざ色や空という言葉を使う必要がないと思いました。その時私は色＝御仏の慈愛と感じたので「御仏の慈愛は空のごとく無限大である。己を空しく器とすれば御仏の慈愛で満たされる」という意味に思えたのです。「無の境地」という言葉がありますが「空の境地」といわれることはまずありません。ところが般若心経では無では

なくわざわざ空を使っているのです。このこと以来、「無」と「空」の違いについて考えるようになりました。

「無」とは自分を鎧で覆い尽し鉄壁の防御をしているのに対し、「空」は何も身につけずに防御していない状態ではないでしょうか。そしてその鎧こそ「自我」だと思のです。人間は弱いものですから自らの身を守るために自我という鎧を纏まといます。

鎧で身を守れば安全に違いありませんが、逆に鎧が重くて自由には動けないでしょう。まるで無心に自分を内観しているようです。

一方、「空」は守りの鎧を一切纏わない状態です。非常に自由である反面、自身をさらけ出すことはとても怖いことでもあります。

その怖さを乗り越えて自らを空とすれば御仏の慈愛で満たされて、御仏の視点に近づけるのだらうと思うのです。

こんな解釈をしたという話は聞いた

ことがありませんので、それで正しいのか全く分かりませんが少なくとも無と空の違いの理解の助けになったと思います。

そうは言っても、現実はその簡単ではありません。未だに空になりきれず駄目出しをされる日々です。



## profile

帝国クリニック院長

1959年生まれ。幼少期をボストンで過ごす。

山形大学医学部卒。米国イリノイ州立大学で分子生物学を研究、1993年より現職。

サーフィンとクラシックカーをこよなく愛し、4世代7人家族。

著書に『患者さまが増える』（H&I出版）、『エグゼクティブが実践するたった一つの健康法』（中経出版）